義務教育が終わってからの

公民

第４話　選挙にみんなで行こう！

3年後
ボクは無事独立し障がい者と一緒に仕事をしています
障がいを持っていたとしても助け合うことで
大変な仕事でも達成感と手応えをいつも感じています
事故に遭った時はショックだったけれど
そこから助け合いや支え合いの大切さに気づけました
この衆議院選挙において我が党は！
また選挙か・・・
色々な人に出会う中で世の中には様々な人がいると気づきました
何が起きても乗り切れそうな家庭の子
生活がやっとの家庭
以前の僕らみたいな何も考えてない奴
それぞれの人にとって良い社会を作るのは難しい
それって一体どんな社会で誰を選べば良いのか・・・
そういえば
私たちは年金や健康保険のことを知ってから
選挙を棄権したことは一度もないんじゃない？

意見を言う機会があるなら
言った方が良いと思うしな
投票率が低い時棄権票は有力候補に有利に働くの
思っても いない人を応援する場合もあるってことか
税金のことも含めて
それまで関係ないと思っていたことも
自分とつながっていると気づいたよ
私たちの払う税金を正しく使ってもらうためにも
それを見張るという意味でも選挙に行くのは絶対大事だよね
だけど1票じゃ何も変わらないとか政治自体に不満や不信があるとか
世の中的には半数の人が棄権してる訳だよな
やはり自分たち一人ひとりが
ちゃんと考えていくしか道はないような気がする
理由は色々あるみたいだけど
でもそれって逆効果みたいよ
どういうこと？
結局正解なんてない
自分たちで答えを出して道を切り開いていこう

編集・発行　公益社団法人名古屋青年会議所
所　在　地　名古屋市中区栄１丁目１５番２４号
電　　話　０５２－２２１－８５９０
製　　作　公益社団法人名古屋青年会議所
　　新しい成人教育実践委員会
監　　修　ライフリテラシー　加藤千晃
　　名古屋税理士会
　　愛知県社会保険労務士会